

第1回大楠幼稚園関係者連絡会会議録

日 時 令和4年(2022年)3月4日(金) 13:05~14:00

場 所 大楠幼稚園 2階プレイルーム

出席者等 保護者、町内会関係者、学校関係者 計8人

教育委員会事務局 佐々木 暢 行(教育総務部 部長)
米 持 正 伸(学校教育部 部長)
古 谷 久 乃(教育政策課 課長)
大 堀 圭 輔(教育政策課 主査)
丸 山 昇 悟(教育政策課 担当者)
渡 辺 真 也(教育指導課 主査指導主事)

発言内容

(参加者)

他の保護者を代弁して、「大楠幼稚園在園保護者の意見」を配布しています。役員一同、私個人としてもいくつか疑問に思うことがあります。大楠幼稚園トイレの改修工事を行い、2,000万円かかったと聞いています。なぜ閉園を予定していて工事をしたのか回答をいただきたいと思います。

(教育委員会事務局)

トイレについては、令和元年度に予算措置をして、令和2年度に改修工事を行いました。その時点では、大楠幼稚園の閉園自体は決まっていたのですが、閉園時期は決まっていませんでした。今いるお子さんのための修繕は行う方針ですので、トイレの改修工事を行いました。

(参加者)

実は、幼稚園のトイレは古くなって、暗くて、臭って、入ることを嫌がる子がずいぶん出てきていました。幼稚園側から改修の要望を出しており、ようやく改修工事に至った経緯があります。

(参加者)

予算を組まれた際に閉園時期がいつになるのかが分からないというお話は分かりました。

しかし、これだけのお金を使って改修したものを数年でなくしてしまうことは、お金の使い方としてどうなのかという議論はされたのでしょうか。

(教育委員会事務局)

令和2年度に工事をして、結果的に数年も経たないうちに閉園ということになれば、無駄な改修工事と言われるかもしれませんが、その時点で必要な工事と判断して行いました。

(教育委員会事務局)

今回、検討を始めた経緯としては、先ほど申し上げたとおり、令和4年度入園児が7名となり、園の存続に関わるため、改めて時期について検討を行うという経緯です。

(参加者)

分かりました。

「大楠幼稚園在園保護者の意見」の中のもう一つの意見で、大楠幼稚園に通う子どもに未就園児の兄弟がいる方が何名かいます。一番小さい子が1歳のため、最低でも5年は存続させてほしいという意見があります。このプランだと1歳の子は入れませんが、これは決定案ということではないということでしょうか。

(教育委員会事務局)

プランではなく、あくまで事務局からの案としてご提示し、それに対してご意見をいただきたいと思っています。

(参加者)

それを今後どこに定めていくのかを決めるためですね。

(教育委員会事務局)

今回、それぞれの立場からご意見をいただきたいと思っています。

1歳のお子さんがいらっやって、できればその子が卒園するまでは存続させたいというご意見があることは今、伺いました。

(参加者)

今、大楠幼稚園に子どもを入れている保護者のそういう思いは強いかもしれませんが、私自身、来年度、入園者が7名しかいないことを初めて聞きました。

我々が子どもを育てていた時は、大楠愛児園や久留和の保育園のみで、この辺りに幼稚園や保育園はありませんでした。

過去に大楠幼稚園の廃園について検討した際、長坂ごみ処理施設対策協議会と当時の横須賀市長との間で協定書が交わされていることを初めて知りました。

団塊の世代の子どもが非常に多かった時代は、幼稚園の入園申し込みに並んで入れてもらっていました。

少ない人数の中で存続していくのもよいかもかもしれませんが、子どもたちがいない中で、そのような教育をいつまでもだらだらと続けていいのか、というのが私たちの考えです。親が卒園した幼稚園に入れたいという話もたくさん聞いています。しかし、一人一人の思いを聞いていたら決まるものも決まりませんし、思いばかりではなく、子どもが本当に幸せな教育が受けられるのか、ということを考えなければいけない、と私は思っています。

(参加者)

ここにいる保護者3人が、反対意見の代表というわけではありません。今回のお話をいただいた際に、現在通っている保護者の意見をまとめていただきたいということでしたので、「大楠幼稚園在園保護者の意見」のとおりまとめてきました。個人個人で思っていることは違うと思います。熱い気持ちがある保護者もいれば、卒園する際に下に兄弟がいないため、熱い気持ちはないという保護者もいる中で、役員としては、気持ちのすれ違いが起きないように書面として残したいと思っています。断固反対ということではないです。

(参加者)

当時、大楠幼稚園役員の人たちが閉園反対と声を上げていました。しかし、子どもの教育環境も考えないといけません。廃園について良い悪いだけでは語れません。

(教育委員会事務局)

当時の検討から携わっていたので、その時の様子もご存じということでのお話でした。また、規模が小さくなってしまふことに対する幼稚園としての教育上のご心配についても伺いました。

今の保護者様は、そのことも十分ご理解くださって意見をまとめていただいているかと思えます。

(参加者)

私は町内会会長としての立場ではなく、長坂のごみ対策協議会会長として、協定書について一言付け加えさせていただければと思います。

昭和51年11月22日、当時の横山和夫市長と長坂町内会長との間で協定書が結ばれました。しかし、すでに45年の時が過ぎていて、当時と今とでは状況が全く違います。

埋め立て地は、おかげさまで安定して問題なく使用されています。我々も協議会は開催していませんが、埋め立て地の状況確認をして全く問題がないことを確認しています。

この協定により、幼稚園や小学校の設置の話が出ました。なぜか知りませんが、当の長坂には幼稚園を作りませんでした。そして荻野小学校が設置されました。この協定書どおりにするならば、長坂に幼稚園を作ればよかったのではないかと私は思っています

が、私たちは、荻野小学校の設置によって、協定の70%は達したという理解をしています。

むしろ、協定書は今の廃園問題とは別なのではないでしょうか。幼稚園の廃園には協議会は何も関わることはなく、保護者と市でよく話し合いをして決定するべきだと思っています。そこで円満解決していただければベストではないかということで、協議会としての私の考え方を述べさせていただきました。

(参加者)

芦名町内会は、幼稚園ととても縁が深く、平和の集いの際にはお年寄りと写真を撮り、それがとても好評です。しかし、コロナ禍のため2年間開催していません。

心情的には幼稚園を残して、先生と一緒にタイアップしてほしいという思いがありますが、来年度の入園者が7名となるとそれも難しいのかという寂しい思いをしています。町内の人みんな同じ思いを持っていると思います。幼稚園があるからこそ、小学校があって中学校があると思っています。

保護者の方は心情的には続けてほしいわけですよね。でも、現実的なことを見ると話し合いになるのかなと思っています。

(教育委員会事務局)

協定書については、前回の検討の際、保護者からこの協定書の存在について指摘があったので、今、この場で、会長から協議会としての考え方をご説明いただいたということです。

(参加者)

私は、私立の幼稚園を2園経験するなど、いくつかの保育スタイルを経験してきました。園児が何百人もいる大きな園と10人以内の小さな園に通っていました。それぞれ私立幼稚園としてユニークな教育を行っていましたが、大楠幼稚園では、支援のレベルが全く違って、とても助かりました。

私立幼稚園でも支援を要する園児の受け入れが行われている、ということが閉園の理由になることについて、私は全く理解ができません。

私の子どもは下に兄弟がいるわけではないですが、他の保護者の方の意見を一つ残らず必ず代弁しなければなりません。先ほど申し上げたとおり、5年は残してほしいという意見が強くありますので、そこに対して、私たち役員は働きかけをできるチャンスの際にしなければならないという思いがあります、

後ほど意見書に目を通していただければ分かると思いますが、かなり疑問が残る部分があり、5年は残していただきたいと思います。

(教育委員会事務局)

5年という考え方はどのような理由からでしょうか。

(参加者)

下の兄弟が入って、卒園できるまでの期間です。

支援を要する子どもがだんだん増えてきている中で、実際に、支援を必要とする子どもが私立の園を辞めさせられたケースもあります。受け入れが必要となった際に、大楠幼稚園が無いことは寂しいです。大楠幼稚園の人数が少なくなったとしても、トップレベルの支援を受けられるこの園で巣立ってほしいと思っています。

(教育委員会事務局)

今後、この辺りの未就園児の保護者を対象にした説明会を設けたいと思っていますので、そこでそのようなご意見を伺えると思っています。

(参加者)

よかったです。説明会の有無についても質問がありました。時期はいつですか。

(教育委員会事務局)

来年度早々、未就園児保護者を対象にそれぞれのご家庭に直接、通知を差し上げる予定です。このエリアに住所があれば、1歳のお子さんがある家庭にも届くと思います。

(参加者)

未就園児の意見を聞いていただけることはありがたいですが、コロナ禍のため、開催する時期の調整が難しいと思います。

来年度に願書を提出する予定の保護者は、早い段階から幼稚園の見学に行きます。夏ぐらいには終了してしまう幼稚園がたくさんあるので、その前に開催していただけたらと思います。

(教育委員会事務局)

コロナ禍ではありますが、なるべく広い会場で、密を避けて開催したいと思っています。

(参加者)

多くの保護者の方からいただいた意見ですが、いずれ廃園になることは仕方ないという声も上がっています。その中で、跡地について心配している方がいます。

「大楠幼稚園在園保護者の意見」にもあるとおり、青少年の家が老朽化でなくなってしまい、子どもたちの交流の場を失ってしまいます。地域柄、公園が少なく、これ以上、校庭等の遊べる場所がなくなってしまうと、佐島の丘くらいしか遊べる場所がありません。

幼稚園の子ども以外の地域の子どもたちが集まって、安全に遊べる場を作る計画があったら、この界隈の保護者が安心するのではないかという話が出ています。

(参加者)

そのことについて、地域として要望しているのは、幼稚園ではなく小学校に行った子どもたちに対しての学童クラブへの開放です。保護者は働いている方が多いと思いますが、学校が終わってから子どもを預ける場所が非常に少ないです。今、学童クラブが欲しいという声を聞いていますので、幼稚園が廃園となり、空きが出たならば、私の立場としては、そういうものが欲しいと思っています。

現在、芦名にある学童クラブは、車道のそばにあって危険です。

ここであれば、小学校の隣りで安心もできるのではないかと考えています。

(参加者)

多くの保護者は、閉園後の跡地は何になるのかという疑問と、やっぱり学童クラブがよいという要望を持っています。閉園は閉園でよいのですが、跡地利用の計画について、多くの保護者から質問が上がっています。

(教育委員会事務局)

決まっているわけではないので、申し上げることは難しいのですが、町内会長からお話があったように、子どもたちの放課後の対策は、課題だと思っています。このことについては、教育委員会ではなくこども育成部で検討していますが、学童クラブに大楠幼稚園の教室を提供することの他、放課後子ども教室というものをこれから令和6年度までに全部の小学校で行いたいと思っていますので、そのことへの活用が考えられます。これは、全児童対策で、放課後の午後4時半くらいまでの時間で、希望者をお預かりする事業です。

(参加者)

放課後子ども教室は、学童と同じものですか。

(教育委員会事務局)

時間が少し短く、給食のある日しか開設しません。

今は、荻野小で行っています。

(参加者)

荻野小にいちごクラブという学童クラブがある。放課後そのまま教室から、いちごクラブへ行って、校庭を利用したりしています。ボランティアも来ているようです。

(参加者)

それは、有料ですか。

(教育委員会事務局)

学童クラブは有料ですが、全児童対策の放課後子ども教室は無料です。放課後子ども教室は、ボランティアではなく、市が事業者に委託して行っています。

(参加者)

学童クラブのボランティアには、ほんのわずかのお礼を渡していますが、給料はありません。

(教育委員会事務局)

放課後子ども教室は、今、市内で5つの小学校で行っていますが、来年度は21校増やして合計26校となる予定です。

(参加者)

そこに大楠小は入っていますか。

(教育委員会事務局)

大楠小は今、教室に空きが無いので、しばらくできない状況ですが、幼稚園の教室が空けば、そこを活用して、大楠小でも全児童対策ができるのではないかとことを案として思っています。

地域の方にとっても学校施設は財産ですので、放課後の子どものためにもそうですし、地域の方たちが世代関係なく集まっていたりするような使い方ができないか、庁内で検討していきます。

(参加者)

学童クラブ以外にも、日本全国で使い方の例があれば教えていただきたいと思います。

後々、廃園になるとするならば、跡施設について、子どもたちが使いやすいものは簡単に考え付きやすいのですが、事例を把握していれば、教えていただきたいと思います。

(教育委員会事務局)

鷹取小学校は、昔は多くの児童がいましたが、今はかなり減少したため、校舎の一部をデイサービスセンターとしています。また、放課後子ども教室としての利用の他、来年度からは学童クラブへの開放を行います。

(参加者)

学童クラブと一緒に高齢者の方たちが生活しているということですか。

(教育委員会事務局)

時間帯はずれますが、交流はあると思います。

(参加者)

皆さんの耳に入っているかもしれませんが、秋谷老人福祉センターもいづれなくなり、青少年の家もなくなります。その中で、高齢者も大人も空いているのであれば活用させていただいて、見守り等の交流の場所にしていただきたいです。どうなるか分かりませんが、案として提案していきたいと思います。

(参加者)

地域の子どもを育てている立場としても、世代を超えた交流をやっていただきたいと思います。

(参加者)

今年度の4月から社会に開かれた学校づくりとして、大楠中学校がモデル校として活動をしています。来年度の4月からは、市内一斉に行われます。子どもたちを育てるために、地域も一緒にやっていくという関係になり、地域の人との交流がすごく増えてきますので、そのあたりも期待できるかなと思います。

(教育委員会事務局)

今のお話は、学校運営協議会、別名コミュニティスクールと言われるもので、地域と学校が一体となって、地域も活性化し、学校も活性化する協議会を作っていこうという取り組みです。

(参加者)

大楠中学校では、どのようなことをされていますか。

(教育委員会事務局)

私は2年間学校運営協議会を担当しています。協議会には、町内会長にも入っていただいています。

例えば、去年は、大楠中学校の通学路はどうあるべきかを話し合っていました。幅広く話すというよりは、一つの問題についてみんなで顔を突き合わせてじっくり話し合うことをしています。そこで結果は出ないかもしれませんが、そういったものがアイデアとして今後の学校経営として生かされる、というような協議会を目指しています。

(参加者)

生徒と地域によるものですか。

(教育委員会事務局)

学校の先生と地域の方、保護者代表の方が入って話しています。生徒自身がそこに入

って、一緒に話すという例も全国的にはあります。学校のきまりや交通安全、地域防災等についてみんなで話し合っていていき、一つのテーマを熟議しています。

モデル校として2年間、大楠中学校でやっていますので、それを基にして来年度から全市の小中学校に学校運営協議会を作っていきます。

まだ、きちっと決まった形はなく、これから皆さんと学校と地域が一緒になって作っていくのでいろいろなアイデアがあると思います。

(参加者)

長坂の話で申し訳ないのですが、長坂には横須賀市の施設が無いというのが一番の難点です。

大楠高校の話になりますが、ゴースタウンとなっていて、ひどい状況です。閉校する時には、高齢者の施設にするという噂もありましたが、実際は校庭は草だらけ、夜は真っ暗です。これは県の施設のため、市がどうということはありませんが、横須賀市にある施設ですから、市から県にお願いできないでしょうか。

町内から、市として、大楠地区にそのような施設があるということを県に言っていただくと助かるという声があります。

(教育委員会事務局)

地域の声として、この状況はきちんと神奈川県に伝えさせていただきます。

(参加者)

例えば、ワクチンの接種会場であれば、何台もの車を止められ、大きな体育館も教室もあるため、多くの人を収容できます。

(教育委員会事務局)

横浜市では、廃校を使ってワクチン接種を行っていた事例があります。

いずれにしても、大楠高校について、地域の方が非常に困っているということを伝えていきます。

(参加者)

「大楠幼稚園在園保護者の意見」は、後ほど見ていただけますよね。

(教育委員会事務局)

内容についてお答えできるものについては、次回、お答えしたいと思います。

(参加者)

録音されたものに関しては、記録したものを後でいただけますか。

(教育委員会事務局)

はい。

(参加者)

それは他の保護者の方にもということですか。

(教育委員会事務局)

はい。

記録として残す前に、参加者の皆さまに一度確認をしていただきます。

(参加者)

分かりました。

(教育委員会事務局)

保護者の代表として来ていただいている中で、責任を感じておられると思いますが、各方面からの意見集約は教育委員会で行います。

(参加者)

そうなのです。皆さんの熱意もきちんと伝えないといけない中で、当初、説明会をされる認識がなかったので、そこから嘆願しないといけないと思っていました。私たちだけに話をして、決定されても困ります。

(教育委員会事務局)

一番影響のある、これから入園する未就園児の保護者から意見を聴取するのはもちろんですし、地域の方が何も知らない中で決めてしまうのは大変申し訳ない話です。

そこで、連合町内会長にご相談した上で、検討の進捗を町内回覧させていただいて、もしご意見があれば教育委員会に寄せていただく形を取りたいと思っています。

次回には、「大楠幼稚園在園保護者の意見」の回答と教育委員会に届いている意見を出しながら、今後についてご相談をさせていただければと思います。

(参加者)

前回、激しい話し合いがあったことは知っています。あのような形ほどでなくても、今後の跡地の使い道等について、教育委員会からお話を聞いてみたいという要望が保護者からいただいています。そういった予定はありますか。

(教育委員会事務局)

今回の会議で放課後児童対策というお話もありましたので、それについてこども育成部と調整して、方向性のようなものはご説明できるかと思います。

(教育委員会事務局)

保護者の方に説明会をというお話があれば、いつでも参ります。

(参加者)

すごく強い要望があります。それは、来年度早々にありますか。

(教育委員会事務局)

未就園児保護者に対しての説明会を来年度早々に行います。

(参加者)

通う予定でも、通わせているわけでもない方の意見集約まではできないので、対応していただきたいと思います。

(教育委員会事務局)

地域全体に回覧して意見を募る予定です。保護者会から要望があれば、保護者会に対してもご説明いたしますので、その際は、園長を通していただければと思います。

(参加者)

大楠幼稚園の果たしてきた役目や少子化、高齢化の流れもある中で、最終的には地域にとってよりよい姿、よりよい方向を目指していけるとよいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。

(教育委員会事務局)

他にご意見等はありませんでしょうか。無いようですので本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

以上